

# しず老施協

## 巻頭言



## 高齢者介護・福祉職にエールを！

一般社団法人静岡県社会福祉士会会長 **高橋 邦典**  
(社会福祉法人静岡県社会福祉協議会常務理事)

静岡県老人福祉施設協議会の皆様にはいつも大変お世話になっております。

前職である県庁時代から20年を超える長いお付き合いとなり、石川相談役や種岡会長をはじめ、この間の様々な出合いや関わりなど思い起こせば、感慨深いものがあります。

さて、誰もが予想もしなかった新型コロナウイルスの猛威で社会経済情勢は一変し、高齢者介護・福祉を取り巻く環境も激動の2年目を迎えています。この間、入居者・利用者さんの生活を懸命に支えてこられた皆様の一方ならぬ御努力に心から敬意と感謝を申し上げます。

世間では医療従事者ばかり脚光を浴びていたので、介護・福祉現場も頑張っていることを分かってもらいたいと思い、県社協では昨年5月に「福祉職にエールを」という応援メッセージビデオを作成し、YouTubeで発信しました。視聴回数は8,800回を超え、介護現場の職員さんから感謝の声が届いた時は、少しでも励ましになれてよかったと、こちらがうれしくなりました。

また、クラスター発生施設への応援職員の派遣についても、老施協さんは種別を超えて積極的に御協力くださっており、本当に頭が下がります。

今年1月に施設での感染やクラスターが発生した時には、感染施設や職員さんに対して、心ない誹謗中傷や差別的行為が県内各地で起こりました。

この時も老施協さんとともに、介護・福祉現場を支援するため、県社会福祉士会、県社協など関係5団体で記者会見を開き、迅速に共同声明を発出することができました。

感染が長引く中で、1年半にも及ぶ自粛や我慢の生活に、職員さんはもちろんのこと、お年寄りの方々も相当ストレスが溜まっているものと思われます。

感染症対策として有効なのは、免疫力の向上と言われています。免疫力を上げるには、楽しい思い、うれしい思いをして笑うことが大切です。

面会中止、外出中止、アクティビティも中止という施設は多いと思います。「お年寄りがどんどん元気がなくなり、笑顔が消えた。見ていて辛い」との現場からの報告も聞いています。

感染対策を優先する現状ではやむを得ないと思いますが、ワクチン接種が進んだ暁には、是非、リアル面会・お出掛け・行事等を積極的に進めていただけたら、ありがたく思います。

これからも、お年寄りの笑顔と幸せを守る老施協でいてくださることを期待しています。

## 静岡県人権啓発センターの取組 ～新型コロナ STOP! 誹謗中傷～



静岡県人権啓発センター  
人権同和对策室室長

黒岩 康

新型コロナウイルス感染症は、本県でも変異株が拡大し、クラスターが発生するなど、なかなか収束が見えない状況にあります。

こうした状況の中、県内においても、感染者及び最前線で治療に当たる医療従事者をはじめとするエッセンシャルワーカーやその家族、更にはクラスターの発生した学校や施設等に対する偏見や差別、心ない誹謗中傷が起きていることは、大変残念なことです。

なぜ、偏見や差別、誹謗中傷などが起こってしまうのでしょうか。

これは、見えない敵（ウイルス）に対する恐れ、不安からくるものと考えられます。人は、見えない敵（ウイルス）に対する恐れや不安を遠ざけようと、特定の対象（感染者、医療従事者等）を見える敵として嫌悪の対象と見なしてしまい、こうした対象を差別することで、つかの間の安心感が得られるからだと言われています。

また、感染拡大防止のための我慢や行動自粛、今後の社会・経済・自らや家族の生活等への不安が、「我慢していない人」や「ルールに従っていない人」と思われる人に対して、いわゆる「自粛警察」といった過激な批判や誹謗中傷につながったと見られます。

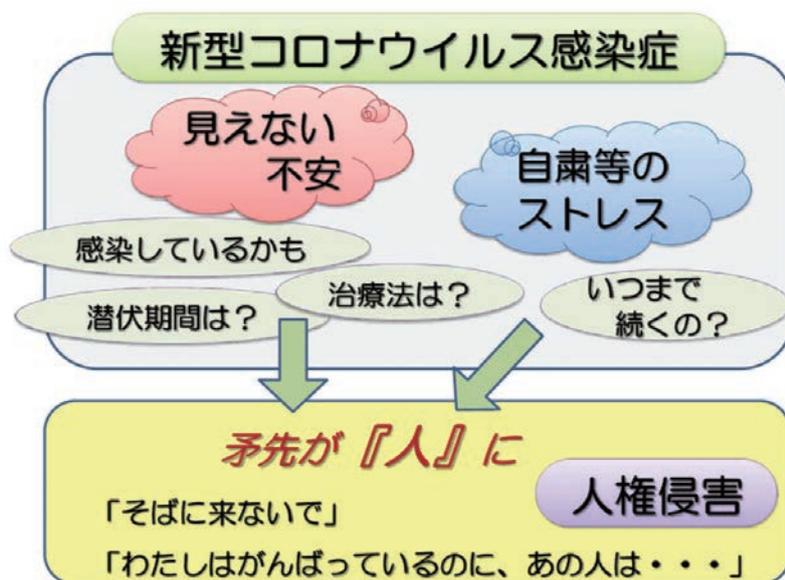
本県では、こうした事象に対応するため、『静岡県

新型コロナウイルスに係る「STOP! 誹謗中傷」アクション推進チーム』を立ち上げ、「1 誹謗中傷等の未然防止」、「2 被害の拡大防止」、「3 被害者の救済」を柱として掲げて、対策を進めています。

静岡県人権啓発センター（県人権同和对策室）も、このアクション推進チームに参画し、様々な取組を行っています。主な取組としましては、メディアやインターネットを活用した周知啓発活動です。センターで発行する人権啓発冊子「じんけん」や県民だよりでの周知啓発やテレビ、ラジオ、動画配信等による情報発信を行ってきました。

毎年12月4日から10日は、「人権週間」として、重点的に周知啓発活動を行っていますが、令和2年度は、「はじめよう あたらしい心の様式」として、差別や誹謗中傷をする前に、ちょっと考えてみましょうというメッセージを込めたポスターを作成し、駅などに掲示しました。こちらテレビCMや動画配信がありましたが、それぞれ見かけたことはありましたでしょうか。

偏見や差別は、新型コロナウイルス感染症の対策に携わる人々の心を深く傷つけ、医療崩壊などを引き起こし、巡り巡って私たちの生命や生活を脅かすことになりかねません。不安から、人を警戒し、嫌悪、差別する言動は、私たちにとって大切な人との信頼関係を



イメージ図

壊し、社会のつながりを弱めてしまいます。

不安から生じる差別や偏見に囚われないために、次の4点を心掛けましょう。

- ①自分の生活習慣を保ち、冷静さを失わない。
- ②時には、ウイルスに関する情報から距離を置き、客観的に自分を見つめ、情報を整理する。
- ③確かな情報を集め、差別的な言動には同調しない。
- ④新型コロナウイルス感染症に対応し、私たちの社会を支えてくれている人に感謝し、敬意を払う。  
理不尽な偏見や差別、いじめなどの被害にあった場

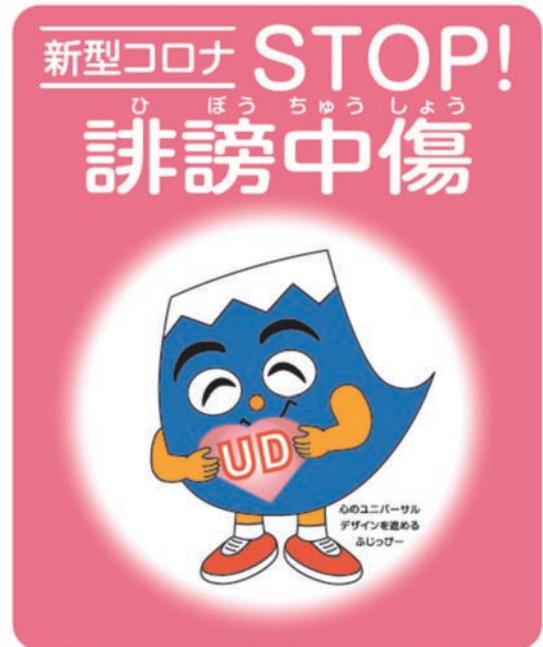
合には、当センターでも相談を受け付けています。新型コロナウイルス感染症に係る誹謗中傷に限らず、人権に関することについて助言や情報提供を行っていますので、困ったときは一人で悩まず、御相談ください。

その他、企業や各種団体などが行う人権に関する研修会や学習会への講師派遣（出前人権講座）も行っていきますので、お気軽にお問合せください。

お互いの人権を尊重し、多様性を認め合い、誰もが人間らしく、幸せに暮らしていくことができる社会を共に目指していきましょう。



人権週間ポスター（「はじめてようあたらしい心の様式」）



誰もが思いやりを持った行動がとれる  
“心豊かなふじのくに”

「新型コロナSTOP! 誹謗中傷」ロゴ

## 応援職員派遣にご協力いただきありがとうございました。

### ～新型コロナウイルス感染症発生施設への応援職員派遣事業～

4月から5月にかけて県内3カ所（静岡市、磐田市、浜松市）のグループホーム等において発生したクラスターに関して、県からの応援派遣要請を受け、人道的な見地等から応援派遣を行うこととし、次の会員施設から職員各1名を派遣いただきました。

応援派遣いただいた施設の皆様には、心から感謝申し上げます。

#### 【応援派遣施設】

- 静岡市内グループホームでの感染発生関連派遣（4月26日～5月15日）
  - ・あおい荘（焼津市）
  - ・羽鳥の森（静岡市葵区）
  - ・登呂の家（静岡市駿河区）
  - ・りんどう（静岡市葵区）
  - ・まごころタウン\*静岡（静岡市駿河区）
  - ・晃の園（静岡市葵区）
- 磐田市内グループホームでの感染発生関連派遣（5月6日～10日）
  - ・西島寮（浜松市南区）
  - ・白梅下石田ホーム（浜松市東区）
- 浜松市内の介護療養医療施設での感染発生関連派遣（5月14日～23日）
  - ・しんぱらの家（浜松市浜北区）
  - ・天竜厚生会城北の家（浜松市中区）
  - ・第二南風（浜松市南区）

## お安く施設のICT化



ケアハウスわだの里施設長  
(広報委員会委員長)

倉田 聡

いつも「しず老施協」をご愛読していただき誠にありがとうございます。社会福祉法人慈照会わだの里の倉田と申します。

この度は助成制度等を使ったお安い施設ICT化のご紹介いたします。

まず施設の概要から。わだの里は2009年オープン。ラジオなど全く受信できない鉄筋コンクリート施設です。サービスは1階に小規模多機能型居宅介護と2階に特定ケアハウス20床で従業員は約45名で運営し各サービスにはWi-Fi機1台とPCで記録の入力を行っている施設です。

導入の切っ掛けは二つ。①つ目は平成30年から始まった「介護分野ICT化等事業費助成」。②つ目は「新型コロナウイルス」です。職員減又は応援職員でもお客様に質を落とさないサービスを提供できるようにと意見が多数上がったためです。

しず老施協バックナンバーに紹介があります。よろしかったらご確認下さい。



「介護分野ICT化等事業費助成」

しず老施協60号QRコード

導入検討会議

倉田：ケアハウスは2ユニット合わせて20名。多機能は日中18名が上限。ICT等を使うより声出した方が早いのでは？

職員：声だそーよって昭和ですか？飛沫で感染拡大ですよ？インカム等あれば顔合わせての会話や大声出さないで飛沫感染防げますよ？と猛反発

倉田：そうかいそうかい。でもさ、施設広くないだろ？目や足を使ってお客様の確認をするのがベストだよね！

職員：目や足を使うって昭和ですか？初めての職員はお客様の状態わかりませんし看取りのプレッシャーわかります？しかも施設内を走るなって！施設長が言ってるじゃないですか？走るの解禁ってことでいいですか？とまたまた猛反発。

最終的に倉田対職員44名の胃が痛くなる大惨敗。

少人数でも連携がとれる「インカム」と目や音で初めての職員でも状態が分かる「センサーマット」の導入となりました。

インカムは某ネット通販で平均出勤職員数台購入。厚い鉄筋コンクリートでも問題なく通話OK。これにはびっくり。レビューって当てになるもんですね。届きにくければ中継器もあるので購入予定でした。周波



数スイッチを合わせ電池入れて耳につけるだけ。30分ほどで設定導入完了。

センサーマットはPCの変更が可能でソフトDRMフリー且つ保守点検料がかからなく、お客様の状態などで簡単に設置変更ができ目視できる物から見積もりを取り寄せP社に決定。ベッドとマットの間に引いてコンセントにさすだけのこれも簡単に設置完了。

通信はWi-Fiです。Wi-Fi機の増設はせず無線が届かない部屋にはPLCと迷いましたがコンセント型Wi-Fi中継器の設置でクリア。

センサーマット以外設備投資はWi-Fi中継器のみです。ソフトを動かすPCは記録PCに導入。この辺は営業マンが無料で対応していただいております。ついでにモバイルで記録とセンサーマットの確認できるよう購入。その後面会用中古PCを購入しインストール。

このセンサーマットの視覚効果はかなり優秀で離床などはもちろん、熟睡しているか目をつぶっているだけか？もモバイル等で確認できますので、夜間排泄で起こしていいものなのか？も表示を見れば即座にわかり職員の負担も減らすことができました。ターミナル時にも呼吸・心拍数が分かるため、状態の変化が誰でもわかり、家族を呼ぶタイミングなども把握でき、導入後は最後に立ち会えなかった家族はおられません。職員も状態の把握が簡単にでき、家族がいる中でのラウンドも控えられ最後の時間をお客様・家族のみで過ごすことができるようになりました。このような事からICTの導入は大成功と感じております。

令和3年度も介護分野ICT化等事業費補助金があり静岡県働きやすい介護事業所認証事業所を優先的に考慮のお話がきております。当然センサーマットの増設希望が職員から出ておりますのでお客様・ご家族・職員・自分の胃のためにも申請する予定です。静岡県働きやすい介護事業所認定を取って良かったと、とても感じました。



「静岡県働きやすい職場認証制度」  
しず老協54号QRコード

この記事がICT・IoTを検討されている施設様の情報になれば幸いです。最後までお読みいただき誠にありがとうございました。

#### 参考

センサーマット 1台9万円 4台購入 計36万円

中継器 1台 計3980円

インカム 1台9800円 10台購入 計9万8千円

モバイル(中古) 1台3千円前後 10台購入 計 約3万円

合計 約49万円の1/2、約25万円の持ち出しでICT導入  
詳しい画像等は下記QR又はわだの里HPへどうぞ。



わだの里QR



## 関東ブロック研究総会神奈川 大会の発表内容 (第5分科会 在宅サービスの取組)



社会福祉法人三愛会理事長  
特別養護老人ホーム愛華の郷施設長

阿井 孝訓

「藤枝市における※1 緩和基準通所型サービス事業等の取組みについて」 ※1 以下「通所型サービスA」と称す。

藤枝市が平成29年4月から開始した総合事業に関して、当法人・施設が関与した下記2事業の取組み内容を発表いたします。

- 1 愛華の郷の運営事業「通所型サービスA」
- 2 愛華の郷が藤枝市から受託の「※2 地域包括支援センター」 ※2 以下「センター」と称す。

上記1の事業者、2の受託法人は、同じ“社会福祉法人三愛会”です。

このことは、同法人・施設内に「通所型サービスA」と「センター」が“同居する状態”となります。

つまり、事業者は「通所型サービスA」を事業としての位置付けであるのに対し、「センター」は藤枝市委託事業として市の方針に基づき行動する事を求められます。市内事業者は「通所型サービスA」の事業展開において、総合事業の柱の一つであるとの認識を持ち、地域に応じたサービス・支援を推進していくこととなります。

そこで、法人・施設内に当然ともいえる問題が発生します。

一つ目は、事業としての採算性です。

(参考例)

愛華の郷デイサービス 定員62名(内「通所型サービスA」定員8名)

愛華の郷の通所介護事業の収入(利用者1人当り1日分)

①約9,600円/人・日(100.0%)

愛華の郷の「通所型サービスA」の収入(利用者1人当り1日分)

②約4,400円/人・日(45.8%)

上記①②、この数値をどうみるか。

二つ目は、藤枝市・センターは総合事業の主旨・目的を踏まえて、どのようにして藤枝市内に普及拡大していくか。即ち、藤枝市・センターの行動力とデザイン力にかかっています。その一方で事業者側は上記に沿った事業計画を立てて、長期的に進んでいくことが可能かどうか。

上記の二つの問題は「二律背反」ともいえますが、平成28年から両者(藤枝市・センターと事業者(愛華の郷))が、「通所型サービスA」の普及拡大を目的に取り組んできた経緯を説明します。

平成28年

藤枝市・センターは、平成29年4月開始の「介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)」の制度理解と運用について、各地区のサービス事業者に対して“丁寧”な説明を行う。

平成29年4月

「通所型サービスA」開始時点での事業者数8業者

平成29年12月

藤枝市は、更なる事業所の参入促進を図るため、通所介護事業者との意見交換を踏まえて下記2点の制度改正を実施した。

- ・利用者個々の能力に合わせてのサービス提供であれば、指定通所介護事業と一体的(場所・時間)なサービス提供が可能である。
- ・「通所型サービスA」の利用者定員の上限(5人)の撤廃

その結果、令和2年3月末現在 計29事業者が実施するとともに、藤枝市全域をカバーするだけの事業者分布となりました。

～最後に～

総合事業に基づく新たな制度(今回は「通所型サービスA」を題材)を実行するには、対象住民を中心に据えたうえで、下記2点が重要であることを改めて認識しました。

- ・藤枝市・センターと事業者等による制度目的の共有化
- ・制度を普及拡大するため、お互いの立場をリスペクト(相手を重んじること)すること。

一言でいえば“信頼関係”です。この当たり前のことがなかなか出来ないのが“当たり前”ですが、福祉施設の経営者にとって大事にしていることの一つであります。

# 新人職員紹介

各施設の新人職員にお聞きしました。

- Q ① 氏名・職種 ② 最近あったうれしいことは ③ 好きなタレント、スポーツ選手  
 ④ もし宝くじで1億円当たったら何に使いますか ⑤ 今後どんな施設（職場）にしていきたいですか  
 ⑥ 施設を選んだきっかけや決め手は何ですか ※氏名はイニシャル表記の方もいます。

## 岩本園

(富士市)



- ① 勝又諄己（介護職）
- ② 専門店のお寿司を食べたこと。
- ③ 岡崎慎司（サッカー）
- ④ 良質な寝具を買う。
- ⑤ 笑顔あふれる明るい施設
- ⑥ 温かく、落ち着いた雰囲気を感じられたから。



## みずほ園

(富士市)



- ① K.T（柔道整復師）
- ② ずっと欲しかったものが手に入った事です。
- ③ 佐藤 健
- ④ 家族へ欲しいものを贈ったりしたいです。
- ⑤ ご利用者様、スタッフ共に落ち着いて過ごすことができる施設を目指していきたいです。
- ⑥ 柔道整復師の資格をそれまで働いていた接骨院での業務以外で活かせないか探していたところ、機能訓練士としての募集を見つけました。



## 久能の里

(静岡市駿河区)



- ① 布川未歩（介護職）（特養多床棟勤務～主に食事介助と排泄介助）。
- ② 利用者様に「ありがとう」と声をかけて頂けたこと。
- ③ 伊藤美誠（静岡出身：卓球選手オリンピック代表）～学生時代卓球をしていたから。
- ④ コロナが流行っていなかったら、家族と日本中全国を巡る旅行に行きたいです。
- ⑤ 利用者様の生活の場なので、利用者様にとっては安心して生活が送れる場であり、職員にとっては1人1人にとって、働き易く協力していける職場にしていきたいです。
- ⑥ 学生の特に、今勤務しているフロアで実習をした時に、利用者様に丁寧に優しい声かけをして接している職員の印象が強く残ったので、この施設を選びました。



## 登呂の家

(静岡市駿河区)



- ① 鈴木大介（ケアワーカー）
- ② 自分の好きな服が買えたこと
- ③ 女優の高畑希希さん
- ④ 日本一周をしてみたい
- ⑤ 利用者さんと充実した1日を過ごせるような施設
- ⑥ 介護の力を高められると思ったから



## グリーンヒルズ東山

(浜松市西区)



- ① 西澤 楓（介護職）
- ② 筋トレを始め少し痩せたこと
- ③ 片岡健太、牧 達弥
- ④ 好きな物を買ひ、残りのお金は貯金をする。
- ⑤ ご利用者の方が安心して、楽しく過ごして頂けるような施設にしたいです。
- ⑥ 専門学校の授業で施設見学をさせて頂いて、理念にあるような施設であると感じ、雰囲気がとても良いと感じたからです。



## 萬松の里

(袋井市)



- ① 山村怜香（介護職）
- ② 一つ一つの自分の仕事に「ありがとう」と言われたこと。
- ③ 俳優、アイドルグループの松村北斗
- ④ 半分は貯金、半分は欲しい物を買う。
- ⑤ 利用者様が生き生きとした生活が送れるよう支援する。
- ⑥ 学校の介護施設実習に来た際、職場の雰囲気が良かったため。



どうぞよろしくお願ひします

## 特別養護老人ホーム 月のあかり

法人名 社会福祉法人 湖成会  
 開設日 平成27年10月1日（入会申込 令和3年4月1日）  
 施設長 齊藤 雄介  
 所在地 富士市大淵847-4  
 入所定員 特養130人 デイサービス30人 短期20人



## 特別養護老人ホーム 沼津南陽光園、ケアハウス 沼津南陽光園

法人名 社会福祉法人 珀寿会  
 開設日 平成30年12月1日（入会申込 令和3年4月1日）  
 施設長 菊池 啓規  
 所在地 沼津市下香貫浜田2985-1  
 入所定員 特養29人 ケアハウス60人 デイサービス10人 短期10人



## 令和3年度老施協活動報告（令和3年4月1日～令和3年6月30日）

## 【老施協】

★4月6日、5月11日（リモート）、6月11日

相談役・正副会長会議

会運営方針の協議等

★5月13日 監事監査

★5月13日 第1回理事会

## 【協議事項】

理事の補欠の選任、令和2年度事業報告案、一般会計収支決算案、委員会委員の補欠の選任、感染症発生施設への応援体制構築、介護の日啓発活動、防災訓練の実施状況、豪雨災害義援金の配分等

★6月30日 事業推進検討会議

令和3年度支部・委員会活動計画案の調整等

★6月30日 第1回総会

令和2年度事業報告案、一般会計収支決算案等

※新型コロナウイルス感染症対策

6月11日 第1回感染症対策検討会議

## 【企画経営委員会】

★4月12日 第1回委員会

令和3年度活動計画、役割分担、アンケートの実施等

## 【広報委員会】

★4月14日 第1回委員会（リモート）

『しず老施協』第61号の企画、老施協ホームページ

## 【研修委員会】

★4月23日 第1回委員会

接遇マナー研修、施設長研修

★6月15日 施設長研修（リモート）の開催

★6月18日 第2回委員会

## 【21世紀委員会】

★4月20日 第1回委員会（リモート）

令和2年度活動実績、令和3年度活動計画等

★5月31日 第2回委員会（リモート）

令和3年度活動計画等

## 【特養委員会】

★4月13日 第1回委員会

令和2年度活動実績、令和3年度活動計画等

★6月8日 第2回委員会

令和3年度活動計画等

## 編集後記

コロナ禍が続く中、私たち福祉施設の職員だけではなく、ご利用者様、ご家族様にも様々な制限が課されています。感染症対策のため、私の勤める施設でも面会の制限をさせていただいてますが、対応に苦慮しているのが看取り期にある方の面会についてです。看取り期の方の食事摂取量を目途に面会の頻度などを決めています。先日も食事がほぼ摂れなくなった方がおり、ご家族様には体調や行動歴の確認、フェイスガー

ド使用などの感染症対策をした上で、居室での面会をして頂きました。毎日面会され、ご家族がお言葉をかけるうちに、日に日にお元気になり、食事量も回復していきました。ご家族様との交流の大切さを改めて思う一方、お元気になったため、面会の頻度を減らさなければならぬことに矛盾を感じました。試行錯誤の日々ですが、このような経験を今後の糧にできればと思います。（荻 将宗）